

# 内海小かわら版 号外

令和2年度 学校評価について

令和3年2月

保護者・全児童・教職員を対象に、今年度の内海小学校の教育についてアンケートを実施し、自己評価として検証しました。学校評価の概要を以下の通り報告させていただきます。紙面の関係で一部の紹介となります。

(アンケート回収数 児童207人 保護者137人〔兄弟でそれぞれ回答する項目については184人〕 教職員15人)

## ① 学校生活について

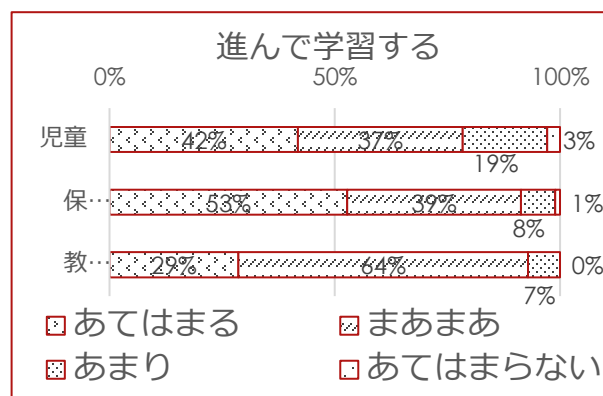
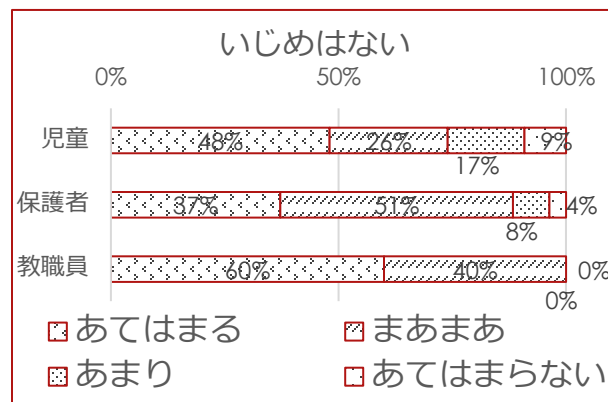
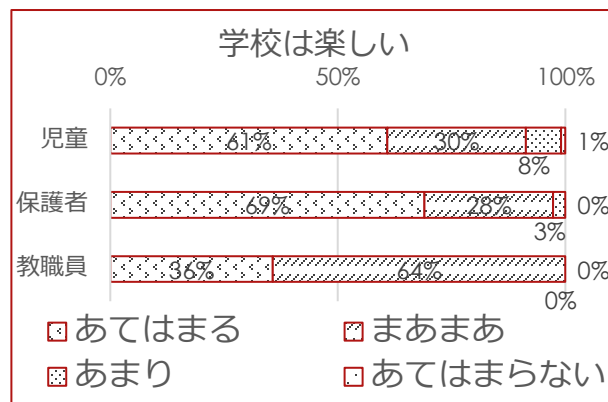
91%を超える児童が学校生活を楽しいと回答しており、保護者の評価も高いです。しかし、「(あまり) 楽しくない」という児童も9% (18名) います。

また、いじめについても、「(あまり) ない」と答えた児童が、74%いる反面、少なからずいじめがあると感じている児童は、26% (54名) いるのが現状です。

学校生活は、同学年・異学年の友達とかかわるなかで、人と人のかかわり方を学ぶ場にはなります。楽しく、安全にかかわることが大切となります。子どもたちが互いの個性を認め尊重し合えるよう楽しい活動を工夫し、人間関係力の育成に努めていきます。また、引き続き道徳教育の充実を図り、子どもたちの豊かな心を培っていきたいと考えています。

## ② 学習面について

学習に約80%の児童が意欲的に取り組んでいると答えています。しかし、「(あまり) 意欲的でない」と答えた児童も20% (45名) おり、保護者・教職員の認識とズレがあります。進んで学習することは、自分を高めるために必要な能力です。今後も自信をもって意欲的に学習に向かう児童が増えるよう、魅力的な授業づくりに取り組み、研修を通して指導力の向上に努めます。また、毎日の授業での「主体的・対話的で深い学び」を通して、資質・能力の向上に粘り強く取り組みます。



家庭学習については、「宿題など家でもきちんと勉強している。」という児童が87%、保護者は、89%を超えています。教職員は、「家庭学習をきちんと行うよう指導している」で79%となっています。「家庭学習の手引き」を活用し、学年に応じて、宿題だけでなく自主的に学習する子をご家庭の協力をいただきながら、育てたいと考えています。

「進んで自分の考えを発表する」という質問については、88%の児童ができていると考えています。さまざまな授業場面でホワイトボードや付箋紙等を使い、考えを発表し、深め合う場面を取り入れてきました。今後も自分の内面を見つめ、自分の思いをや考えを発表できる子どもを育てていきます。自分の考えを発表することは、コミュニケーション能力の基礎となります。行事や授業を通してさまざまな課題に対処できる子どもを育成していきます。

### ③ 学びの保障・感染症対策について

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策でさまざまな対策を行いました。中止にしたり、延期にした行事もありましたが、運動会や学芸会や各宿泊行事等も工夫して行うことができました。学習につきましても、いつもより長い2学期に、学習時間・内容を確保することができました。アンケートでは、保護者・教職員とも、90%をこえる高い数値となっています。

引き続き、新しい知見に基づき新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い、自分やまわりの人の生活・命を守っていきます。今後ともご支援をお願いします。

### ④ その他

「学校ホームページの写真で子どもたちの様子を見ることができるので楽しみにしています」という声がある一方、「若い先生が多くなってきて、教師の負担が多いのか、生徒の指導に余裕がないのか、広い心でゆとりをもって接してほしい」というご意見等をいただいています。貴重なご意見ありがとうございます。子どもたちだけでなく、教職員も力量向上に励んでいます。本校の伝統を守りながら、ご家庭・地域の願いを受け、新しい時代に即した教育活動を展開していきたいと考えています。今後ともご理解とご協力をよろしくをお願いします。

